

めぐみイエス・キリスト教会

2025年2月9日(日)第二主日礼拝

午前10時より

週報「通算第745号」



2025年標題聖句

イザヤ書40章30節～31節

《若者も疲れて力尽き、若い男たちも、つまずき倒れる。しかし、主を待ち望む者は新しく力を得、鷲のように、翼を広げて上ることができる。走っても力衰えず、歩いても疲れぬ。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌102「主は命を」 p. 142

【交読文】 No.51 マタイの福音書5章(抜粋) p. 920

【賛美Ⅱ】 新聖歌235「罪重荷を除くは」 p. 356

【使徒信条】

【主の祈り】

【前回説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル新曲「神様は」

【聖書朗読】 ルカの福音書8章22節～25節

【礼拝説教】 《ガリラヤ湖の嵐を静める主》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」 p. 236

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

※本日の聖書箇所(ルカ8章22節～25節)新約p.128上段

8:22 ある日のことであった。イエスは弟子たちと一緒に舟に乗り、「湖の向こう岸へ渡ろう」と言われたので、弟子たちは舟を出した。

8:23 舟で渡っている間に、イエスは眠り始められた。ところが突風が湖に吹きおろして来たので、彼らは水をかぶって危険になった。

8:24 そこで弟子たちは近寄ってイエスを起こし、「先生、先生、私たちは死んでしまいます」と言った。イエスは起き上がり、風と荒波を叱りつけられた。すると静まり、風になった。

8:25 イエスは彼らに対して、「あなたがたの信仰はどこにあるのですか」と言われた。弟子たちは驚き恐れて互いに言った。「お命じになると、風や水までが従うとは、いったいこの方はどういう方なのだろう

か。」

●ポイント1. ヨナのしるしとは？

※ルカの福音書11章29節～30節「主イエスの言葉から」(新約p.73)

11:29 さて、群衆の数が増えてくると、イエスは話し始められた。「この時代は悪い時代です。しるしを求めますが、しるしは与えられません。ただし、ヨナのしるしは別です。

11:30 ヨナがニネベの人々のために、しるしとなったように、人の子がこの時代のために、しるしとなるからです。」

●ポイント2. 旧約聖書における預言とは？

※詩篇107篇23節～30節「救済者なる神への感謝の詩」(旧約p.1049)

107:23 船に乗って海に出る者大海で商いする者

107:24 彼らは見た。主のみわざを深い海でその奇しいみわざを。

107:25 主が命じて激しい暴風を起こされると風が波を高くした。

107:26 彼らは天に上り深みに下りそのたましいはみじめにも溶け去った。

107:27 彼らは酔った人のようによろめき知恵はことごとくのみ込まれた。

107:28 この苦しみのときに彼らが主に向かって叫ぶと主は彼らを苦悩から導き出された。

107:29 主が嵐を鎮められると波は穏やかになった。

107:30 波が凪いだので彼らは喜んだ。主は彼らをその望む港に導かれた。

●ポイント3. 「この方はどういうお方なのだろうか」の答えとは？

※マタイの福音書14章32節～33節「主の水上歩行の後」(新約p.30)

14:32 そして二人が舟に乗り込むと、風はやんだ。

14:33 舟の中にいた弟子たちは「まことに、あなたは神の子です」と言って、イエスを礼拝した。

◎先週のメッセージ【平安があなたがたにあるように】

《今回は特別にヨハネの福音書からの学びとなります。「週の初めの日」とは、主イエスが十字架に掛けられた日から数えて三日目の日曜日のことです。弟子たちはユダヤ人を恐れて、扉に鍵をかけて、ヨハネ・マルコの家を集まっていた。彼らは、すでに主イエスがよみがえられたことを知っていました。その時、突然主イエスが彼らの真ん中に立たれたのです。当然、彼らは、幻か幽霊かと思い恐れしました。「平安があなたがたにあるように。」

主は彼らの恐れを取り除く為にご自身の手と脇腹を示されました。「平安があなたがたにあるように。あなたがたがだれかの罪を赦すなら、その人の罪は赦されます。赦さずに残すならそのまま残ります。」

この時の弟子たちには、赦せない多くの者がいました。イスカリオテのユダ、大祭司カヤパとアンナス、そして十字架刑を執行したポンテオ・ピラトのことです。心の問題の多くの原因は、これなのです。つまり、心の中に「赦していない人」がいると苦しむのは自分なのです。その人を赦すことによって、解放されるのは自分自身なのです。

さて、この時、十二弟子の一人、トマスはその場には居合わせませんでした。弟子たちは彼に「私たちは主を見た」と証したのですが、彼は「私は、その手に釘の跡を見て、釘の跡に指を入れ、その脇腹に手を入れてみなければ、決して信じません」と言ったのです。

弟子たちは何とかトマスを説得して、「ガリラヤに行きなさい」という主イエスの命令を実行しようとしませんが、誰もトマスを説得出来ませんでした。すると、一週間前と同じように、主イエスが来られたのです。「平安があなたがたにあるように。あなたの指をここに当てて、私の手を見なさい。手を伸ばして、私の脇腹に入れなさい。」

主イエスでなければ、解決出来ない問題が存在します。そして、遅くもなく早くもなく、絶妙のタイミングで、主が来て下さるのです。》

◎お知らせ

※次回は2025年2月16日午前10時より、通常通り行ないます。